

「自己血採血にたずさわる看護師の実態に関するアンケート調査研究」

情報公開文書

この文書は、「自己血採血にたずさわる看護師の実態調査に関するアンケート調査研究」について説明したものです。

本研究は、岩手医科大学医学部倫理委員会の許可を得ています。

倫理審査承認番号：H29-169

承認日：平成 30 年 2 月 1 日

【意義・目的】

貯血式自己血輸血は同種輸血による輸血後感染症や免疫性副作用などを回避できる周術期の安全な輸血療法の一つと考えられています。

急激な血圧低下と徐脈による血管迷走神経反応（VVR）は、採血室内において 1～2%の頻度で発生します。その軽減や予防には、患者さんの緊張を緩和する採血前の看護師によるオリエンテーションや採血後の輸液などが有効であると報告されています。

採血後にしばらく経過してから発生する遅発性副作用も知られておりますが、その発生率や危険因子の報告はわずかです。遅発性副作用は、採血室外での転倒や外傷などのアクシデントにつながる可能性があります。その軽減や予防のための看護方法はいまだ確立されていません。

多くの医療機関で自己血採血には看護師が関わり、その中心的な役割を担っています。わたしたちは、地域の医療機関で患者さんがより安全な自己血採血を受けるために、自己血採血後の遅発性副作用への対策が必要であり、その対策には自己血採血にたずさわる看護師が中心となった取り組み必要であると考えております。

現在までのところ、岩手県において自己血採血にたずさわる看護師の実態はあきらかになっていません。わたしたちの研究をすすめるうえで、岩手県で自己血採血にたずさわる看護師の方々がどのように業務にあたられているのかを明らかにしたいと考えております。

【対象と方法】

- 平成 28 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日に貯血式自己血輸血を行った岩手県の医療施設を対象に、対象とする施設に対してアンケート調査票を郵送します（19 施設、岩手県合同輸血療法委員会アンケート調査結果による）。
- 本アンケートへの協力は自由意志です。調査票のご返送により本調査への参加の同意を得たものとします。本アンケートに協力いただけない場合でもなんら不利益になることはありません。
- アンケートは無記名で行い、対象施設の基本的項目の調査（病床数や実施した総輸血単

位数など)、自己血輸血の実施状況（実施した自己血輸血単位数や診療科など）、および自己血輸血にたずさわる看護師の状況（従事する看護師の人数、業務内容、副作用の経験、看護手順の整備、研修、看護師が業務で感じる不安など）を調査します。記入された調査票は郵送で研究者に返送されます。

- アンケート調査票に記入された結果は集計され、統計学的な解析が行われます。輸血の管理体制や実施状況は医療施設の規模により異なることが予想されるため、病床数 500 床以上（大規模病院）、300 床以上～500 床未満（中規模病院）、300 床未満（小規模病院）に分けた上でそれぞれの調査項目を集計し、解析が行われます。これらの結果により、下記の項目を評価し、岩手県の医療施設で自己血輸血業務にたずさわる看護師の実態を明らかにします。

主要評価項目

- 岩手県において看護師が自己血採血にたずさわる医療施設の比率とその看護師数

副次的評価項目

- 岩手県の医療施設で自己血採血にたずさわる看護師の業務内容
 - 岩手県の医療施設で自己血採血にたずさわる看護師が経験した採血室内での採血時副作用の種類とその比率
 - 岩手県の医療施設で自己血採血にたずさわる看護師が DRs を把握している比率
 - 岩手県の医療施設で自己血採血にたずさわる看護師の業務で感じる不安の内容
- 本研究は自己血輸血を行った患者さんを対象にしません。そのため、患者さんの診療情報も収集しません。

【使用する情報の匿名化と取り扱いについて】

- アンケートを提供していただく場合、個人のプライバシーおよび個人情報の保護には十分に配慮します。
- 本研究は無記名のアンケートで行われるため、施設や回答を担当者した方が特定されることはありません（本アンケートでは個人情報は収集されません）。
- 本アンケートは無記名で行うため、ご返送後に撤回の申し出があってもアンケート用紙を特定することが困難であるため、データを除外できません。
- 本アンケートでご回答いただいた調査票は、研究終了後に適切な方法で廃棄・処理します。調査結果は本研究の目的以外には使用しません。集計したデータは、岩手医科大学医学部臨床検査医学講座において厳重に保管され、研究期間終了後 5 年間保存されます。保存期間終了後に適切な方法で廃棄・処理されます。
- 研究の結果を公表する際も個人を特定できる情報は一切使用しません。
- ご返送いただいた調査票に記入されたデータは、ネットワーク環境に接続されないコンピュータのみで解析を行い、外部からのアクセスも不能にします。

【研究結果の公表および知的財産権の帰属】

- 調査結果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、個人や施設を特定するような情報が公開されることはなく、個人情報を守られます。
- アンケート調査の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は学校法人岩手医科大学に帰属します。

【研究資金と利益相反】

- 本アンケートは、文部科学省科学研究助成費「自己血採血後遅発性副作用のリスク解析と予防法のための看護方法の開発（課題番号 17K09245）」により行われています。本研究のすべての研究者に開示すべき利益相反（COI）はありません。

【当該研究に関わる研究機関名と研究者名】

研究責任者（所属）臨床検査医学講座	（職）教授	諏訪部 章
（所属）臨床検査医学講座	（職）准教授	鈴木 啓二郎

【研究期間】

医学部倫理委員会承認日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日まで

【苦情の申し出先及び問い合わせ先】

岩手医科大学医学部臨床検査医学講座 担当：鈴木 啓二郎
〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 1 9 - 1 電話：019-651-5111（代）